

三 田 証 券 株 式 会 社

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-11 Tel：03-3666-0011



Annual Report **2020**
Corporate Profile **2021**

社長挨拶

2001年に私が当社の代表取締役役に就任してから丸20年が経過しました。

その間、業界の勢力図は激変し、想像以上に速いペースで証券会社の淘汰再編が進みましたが、当社は独立系ブティック証券として、他社とは一線を画す経営戦略のもと、生き残りを図ってまいりました。景気の浮き沈みに大きく左右されやすいと言われる証券経営ですが、当社は、2021年3月期まで18期連続で黒字を維持しております。独自性の高い商品やサービスが収益源の分散をもたらし、経営の安定化に結びついております。しかし、世の中の変化の速度は上昇を続けるばかりで、証券経営は日に日に難しさを増しており、当社が一瞬でも変化への適応力を失えば、目下の安定は簡単に崩れると憂慮しています。

2021年3月期は、新型コロナウイルスの爆発的流行により世界の多くの都市がロックダウンに追い込まれ、世界経済の成長率は一時戦後最大の落ち込みを見せましたが、主要先進国による未曾有の財政出動と徹底的な金融緩和により世界経済は全体的に持ち直してきております。一方、その副作用として、カネ余りが助長され、世界中で資産インフレが起こっております。米中対立や米大統領の交代など外部環境は不安定だったものの、株式市場に資金が流入し、日経平均株価は一時30年ぶりに3万円の万台を回復しました。

当社は、カネ余りに沸く市場の活況を追い風に、当期は順調な成果を記録することができましたが、目先の成績に慢心することなく、むしろ、今まで以上に慎重な経営を行っていく必要があると気を引き締めなおしております。

なぜなら、財政規律の乱れは著しく、資産インフレの質は悪化の気配を見せており、一部では官製バブルが発生しています。いつ何時、リーマンショックを上回る大混乱が起こるかわからない危険な相場上昇と感じます。

ワクチン接種の広がりにより、長く重く覆いかぶさってきたパンデミックの合間から一筋の光が見え始めていますが、人類がパンデミックを克服した先には、人類が産み出したカネ余りという副作用との闘いが待ち構えています。新型コロナウイルスは形を変えて再び人類に襲い掛かるかもしれません。

冒頭に申し上げましたとおり経営者20年の節目を迎え、年齢も50歳となりました。経営者としても、自分自身の人生も折り返しとなり復路につきました。難しいかじ取りを強いられる環境下ではありますが、今一度初心に帰り、より一層お客様のためになる会社を目指して頑張っている所存でございますので、引き続き、変わらぬご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



三田証券株式会社
代表取締役社長 三田邦博

当社は、お客様、お取引先の皆様との信頼関係強化のためにディスクローズを徹底しております。

「Annual Report / Corporate Profile」は、当社の業績・財務状況および業務内容を皆様にお伝えする目的で每期作成しております。





決算概況

受入手数料

受入手数料の合計は504百万円(前期比161.3%)となりました。
内訳は以下の通りです。

【委託手数料】

日米株式市場が上昇基調を続けたため、委託手数料は274百万円(前期比238.5%)と大きく増加しました。主に米国株の委託手数料収入が増えました。また、DMA(Direct Market Access)事業を開始したことから取引数量も増加しています。

【引受手数料】

公募増資や自社組成商品の引受をおこなったことから引受手数料は17百万円(前期比74.7%)となりました。

【募集手数料】

米国とイスラエルのベンチャー企業に投資するファンド2本とヘッジファンド2本を新規に導入して37億円以上の販売を行いました。その結果、募集手数料は140百万円(前期比144.8%)となりました。

【その他の受入手数料】

その他の受入手数料は72百万円(前期比93.5%)となりました。

トレーディング損益

トレーディング益合計は3,737百万円(前期比145.7%)となりました。

【株式トレーディング益】

株式トレーディング益は、3,390百万円(前期比155.0%)となりました。
株式市場のボラティリティが高まって投資機会が増えたことからディーリング事業が絶好調でした。3期連続で部門最高益を更新しています。
ワラントの運用益も2百万円計上しています。

【債券トレーディング益】

債券トレーディング益は、324百万円(前期比95.1%)となりました。
米国の長期債価格が下落基調(金利が上昇基調)を続け取引は盛り上がりに欠けました。

【その他のトレーディング益】

その他のトレーディング益は21百万円(前期比60.1%)となりました。

金融収益

金融収益は709百万円(前期比115.4%)となりました。
信用取引に係る金融収益、貸金業の受取利息、ファクタリング手数料が軒並み減少したものの、ヘルスケア関連企業向けの融資が伸び、金融収益は増加しました。

その他の営業収益

その他の営業収益は379百万円(前期比176.0%)となりました。
TOB代理人業務を13件受任し、年間の受託件数記録を大幅に更新しました。不動産特定共同事業法に基づくファンドの組成も行っております。

金融費用

金融費用は183百万円(前期比130.3%)となりました。
ヘルスケア関連企業向け大口融資のための調達が増えました。
既存の取引先金融機関に加え、新たに4金融機関との取引を開始しました。

以上の結果、当期の純営業収益は5,147百万円(前期比144.3%)となりました。

販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の合計は4,049百万円(前期比138.6%)となりました。
ディーリング部門が好調でディーラー向け報酬が大幅に増加したことや、人員を増強したことから人件費が増えています。業務委託先への支払いが増加したことから事務費も増えました。
一方、コロナ禍の影響で出張や接待が激減し、旅費・交通費や交際費が減少しました。

以上の結果、当期の営業利益は1,097百万円(前期比169.9%)、経常利益は1,165百万円(前期比173.5%)、税引前当期純利益は1,160百万円(前期比174.0%)、当期純利益は781百万円(前期比164.6%)となりました。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額			
	2021 年 3 月期		2020 年 3 月期	
営業収益		5,330		3,706
受入手数料		504		312
委託手数料	274		114	
引受・売出・特定投資家向け売付勧誘等の手数料	17		22	
募集・売出・特定投資家向け売付勧誘等の取扱手数料	140		97	
その他の受入手数料	72		77	
トレーディング損益		3,737		2,563
金融収益		709		614
その他の営業収益		379		215
金融費用		183		140
純営業収益		5,147		3,566
販売費及び一般管理費		4,049		2,919
取引関係費	348		368	
人件費	3,068		2,069	
不動産関係費	79		68	
事務費	292		223	
減価償却費	34		35	
租税公課	212		142	
貸倒引当金繰入額	5		—	
その他	8		10	
営業利益		1,097		646
営業外損益		67		25
経常利益		1,165		671
特別損失		4		4
金融商品取引責任準備金繰入	4		4	
税引前当期純利益		1,160		667
法人税、住民税及び事業税	465		136	
法人税等調整額	△86	379	55	192
当期純利益		781		474



財務概況

流動資産

当期末の流動資産の合計は、27,734百万円(前期比120.2%)となりました。
期末の自己売買の保有玉が増えたことから、トレーディング商品が2,303百万円(前期比142.0%)となりました。
ヘルスケア関連企業向けに大口融資を行ったことから、短期貸付金が13,556百万円(前期比197.0%)と大きく増加しています。(なお、本融資の譲渡担保として調剤報酬債権を受け入れております)
ファクタリング業務の残高が減少したことから、金銭債権未収入金が316百万円(前期比41.0%)と減少しました。

固定資産

当期末の固定資産の合計は、2,079百万円(前期比98.8%)となりました。
当社株主への貸付が一部弁済されたことから長期貸付金が61百万円減少しました。
課税所得増加に伴う留保金の増加から、繰延税金資産が198百万円(前期比177.8%)に増加しました。

流動負債

当期末の流動負債の合計は、21,437百万円(前期比120.2%)となりました。
ヘルスケア関連企業向けに大口融資を行ったほか、事業上の資金需要が旺盛だったことから、短期借入金が11,070百万円(前期比155.4%)と大幅に増加しました。
業績が好調だったため業績連動型の賞与引当金が130百万円増加しました。
一年内償還予定社債が1,000百万円(前期末は0)となりました。
(内訳は、一般社債と劣後債が各々500百万円となっております。)

固定負債

当期末の固定負債の合計は、630百万円(前期比117.8%)となりました。
劣後社債500百万円が流動負債に切り替わりましたが、金融機関向けに新たに社債を400百万円起債したため、社債は前期比100百万円減少して400百万円となっております。

以上の結果、当期末の負債合計は、22,096百万円(前期比122.1%)となりました。

純資産

当期末の純資産の合計は、7,717百万円(前期比109.1%)となりました。
業績が好調だったことから、利益剰余金が644百万円増加しています。
自己株式(金庫株)を全株消却したことから、自己株式が0(前期末は△245百万円)となりました。

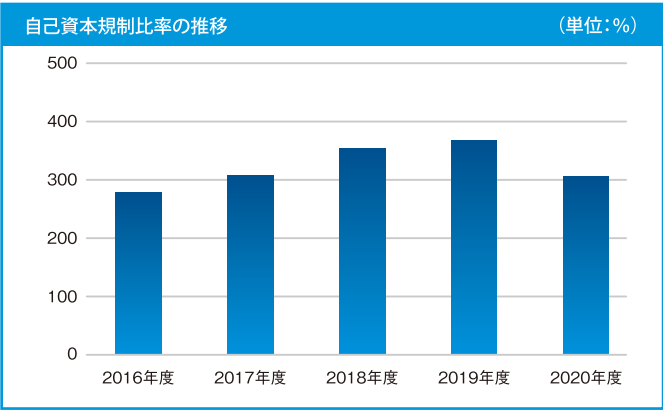
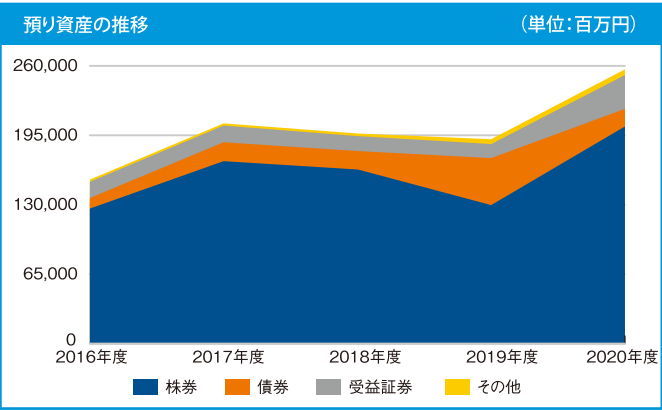
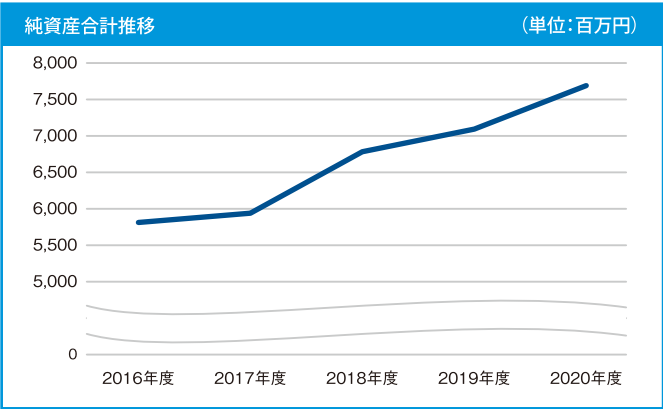
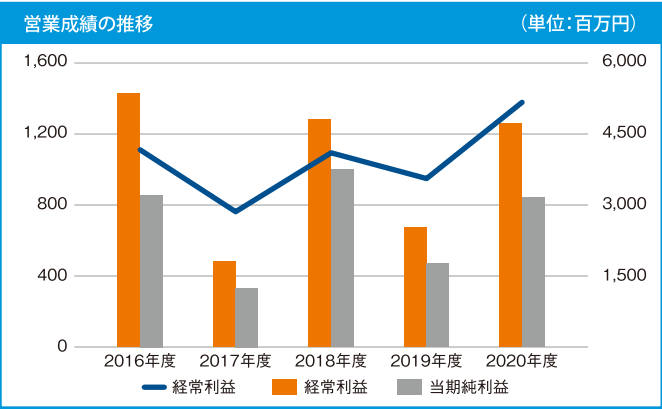
以上の結果、当期の資産合計および負債・純資産合計は、29,813百万円(前期比109.1%)となりました。

貸借対照表(2021年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	2021年3月	2020年3月	科 目	2021年3月	2020年3月
流動資産	27,734	23,064	流動負債	21,437	17,537
現金及び預金	1,670	2,828	トレーディング商品	133	442
預託金	3,260	3,690	約定見返勘定	—	481
トレーディング商品	2,303	1,622	信用取引負債	2,836	3,242
約定見返勘定	553	—	預り金	2,377	3,022
信用取引資産	2,937	4,821	受入保証金	2,379	1,600
短期差入保証金	2,992	2,293	短期借入金	11,070	7,120
短期貸付金	13,556	6,878	一年内償還予定の社債	1,000	—
金銭債権未収入金	316	770	未払金	703	1,319
その他の流動資産	162	173	未払法人税等	484	16
貸倒引当金	△ 19	△ 14	賞与引当金	350	220
			その他の流動負債	102	71
固定資産	2,079	2,104	固定負債	630	535
有形固定資産	160	176	社債	400	500
無形固定資産	23	25	長期借入金	179	—
投資その他の資産	1,896	1,903	その他の固定負債	51	35
投資有価証券	294	273			
関係会社株式	70	50	特別法上の準備金	27	23
関係会社出資金	872	927	金融商品取引責任準備金	27	23
長期貸付金	414	476	負債合計	22,096	18,095
繰延税金資産	198	111	純 資 産 の 部		
その他の投資等	45	158	株主資本	7,717	7,072
貸倒引当金	△ 0	△ 94	資本金	500	500
			利益剰余金	7,217	6,818
			自己株式	—	△245
			純 資 産 合 計	7,717	7,072
資 産 合 計	29,813	25,168	負債・純資産合計	29,813	7,072

決算ハイライト



役員紹介 (2021年6月末現在)



代表取締役 三田邦博
1994年 上智大学法学部卒業
1994年 日興証券(現SMBC日興証券)入社
1998年 三田証券入社 同社取締役
2001年 同社代表取締役



取締役 門倉健仁
1991年 中央大学経済学部卒業
1991年 日興証券(現SMBC日興証券)入社
2002年 日本グローバル証券(現内藤証券)入社
2004年 三田証券入社
2009年 同社取締役



取締役 茶木匡史
1992年 早稲田大学商学部卒業
1992年 野村證券入社
2008年 三田証券入社
2018年 同社取締役



取締役 大槻竜哉
1991年 同志社大学商学部卒業
1991年 富士銀行(現みずほ銀行)入行
2000年 香港上海銀行入行
2005年 ドイツ銀行入行
2006年 キャピタル・パートナーズ証券入社
2016年 三田証券入社
2020年 同社取締役



監査役(社外監査役) 藤本欣伸
1989年 早稲田大学法学部卒業
1991年 第二東京弁護士会登録
1991年 あさひ・狛法律事務所
(現西村あさひ法律事務所)入所
1995年 シカゴ大学ロースクール卒業(LL.M.)
1996年 ニューヨーク州弁護士登録
2008年 三田証券監査役
現在 西村あさひ法律事務所パートナー



執行役員 飯田義樹
2003年 東洋大学経営学部卒業
2003年 岡三証券入社
2006年 日本M & A マネジメント入社
2007年 三田証券入社



執行役員 布施正浩
1990年 早稲田大学政治経済学部卒業
1990年 住友スリーエム入社
1995年 第一不動産鑑定所入社
2000年 生駒シービーリチャードエリス
(現シービーアーレイー)入社
2005年 セキュアード・キャピタル・ジャパン
(PAG インベストメント・マネジメント)入社
2007年 ING 不動産投資顧問
(現CBER グローバルインベスターズ・ジャパン)入社
2010年 RPA入社
2011年 ホスピタリティ・パートナーズ・グループ入社
2016年 シービーアーレイー入社
2018年 コリアーズ・インターナショナル・ジャパン入社
2019年 三田証券入社



取締役 仲本司
1998年 カリフォルニア州立大学
コンピュータサイエンス学部卒業
1998年 厚木情報システム入社
2002年 ユナイテッドワールド証券(現エイト証券)入社
2004年 ソシエテジェネラル証券入社
2005年 三田証券入社
2017年 同社取締役



取締役 石橋重成
1992年 青山監査法人入社
1993年 明治大学政治経済学部卒業
1997年 公認会計士登録
1998年 クレディリヨネ銀行(現クレディアグリコル証券)入行
2000年 カナダコマース銀行入行
2003年 CIBC証券会社へ転籍
2017年 三田証券入社
2019年 同社取締役



取締役 見知岳洋
2002年 東京大学法学部卒業
2008年 弁護士登録(第二東京弁護士会)
西川シドリー・オースティン法律事務所・外国法共同事業入所
2009年 川島法律事務所入所
2011年 財務省関東財務局 証券取引等監視官 特定任期職員採用
2014年 弁護士再登録(第二東京弁護士会)
野村證券入社
2017年 モルガン・レイス・アンド・バッキアス法律事務所入所
2019年 三田証券入社



監査役(社外監査役) 清水幸裕
1995年 北海道大学工学部卒業
1995年 北海道拓殖銀行入行
1998年 興銀証券(現みずほ証券)入社
2000年 日興ソロモンスミス・バーニー
(現シティグループ証券)入社
2005年 ライブドア入社
2006年 同社代表取締役副社長
かざか証券(現内藤証券) 代表取締役会長
かざかフィナンシャルグループ 代表取締役社長
セシール 取締役 メディアエクスチェンジ 取締役
2008年 三田証券入社
2008年 同社取締役
2013年 同社監査役



執行役員 友寄景介
2002年 武蔵大学経済学部卒業
2006年 日興コーディアル証券(現SMBC日興証券)入社
2009年 三田証券入社



執行役員 磯田祐史
1990年 長崎大学教育学部卒業
1990年 山一證券入社
2000年 メリルリンチ日本証券(現BofA証券)入社
2002年 前田証券(現FFG証券)入社
2010年 飯塚中川証券(現なかかわ証券アドバイザー)入社
2013年 キャピタル・パートナーズ証券入社
2016年 三田証券入社

Mission / Our Values / Business Principles

Mission

証券業の持つ無限の可能性を追求し
新たな付加価値を創造し続ける

Our Values



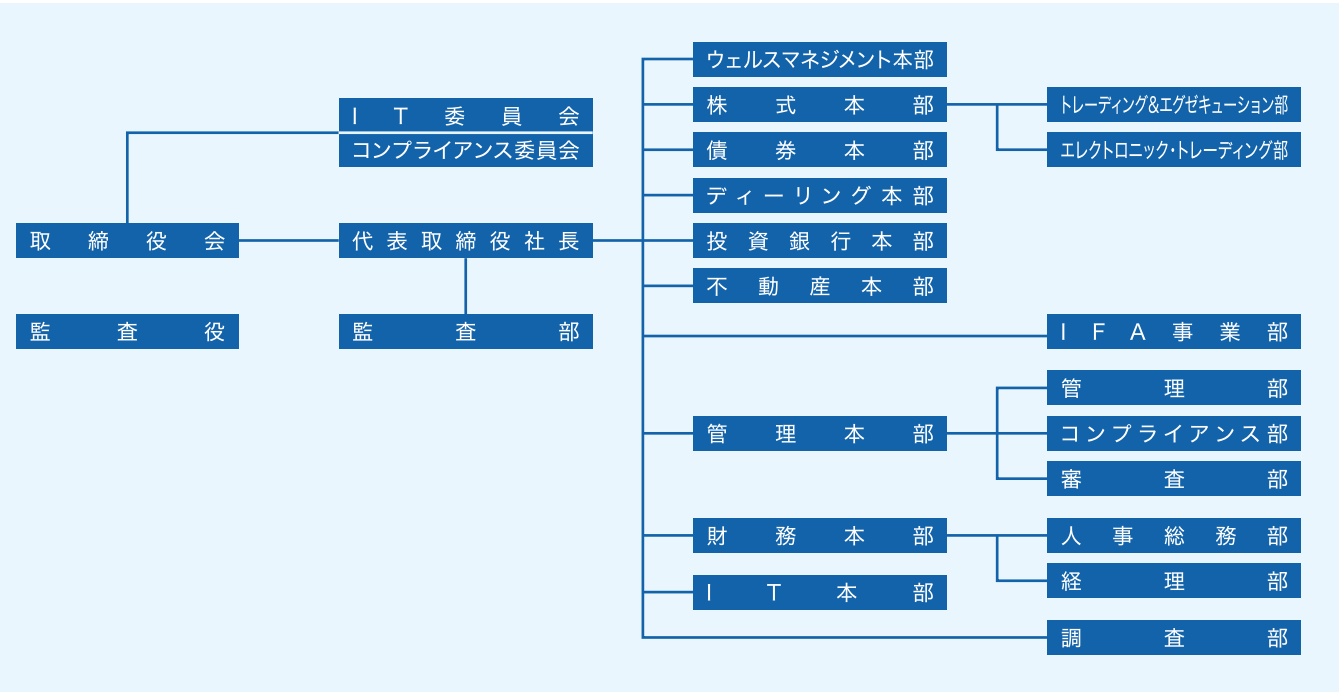
Business Principles

Integrity 常に誠実・正直な態度で 仕事に向かい合います。	Client First お客様の声に真剣に耳を傾け、 お客様の立場に立って物事を考えます。	Win-Win お客様と当社がWin-Winの関係で 結ばれるディールを目指します。
Compliance コンプライアンス遵守を 当然かつ絶対の責務と考えます。	Value Added お客様に高い付加価値を 提供できるよう努めます。	Teamwork 多様な才能を持つ人材が混血の強みを生み、 高いレベルでお客様の目標達成に貢献します。
Adaptability, Creativity 時代の変化に適応し、 創造性を持った仕事を行います。	Commitment 徹頭徹尾、責任感を持って 仕事に取り組みます。	Think Global 世界的視野を持ち、 世界中から最高の機会を探し出します。

2020年4月以降の主要な実績

- 株式会社有沢製作所(5208)による台湾上場子会社の完全子会社化を目的とした公開買付けにおいてバイサイド・アドバイザーを務めました。
- サンシャインH号投資事業組合による京阪神ビルディング株式会社(8818)株式に対する公開買付け代理人を務めました。
- NFS株式会社による日本フォームサービス株式会社(7869)株式に対する公開買付け代理人を務めました。(MBO)
- SINO BIOPHARMACEUTICAL LIMITED(中国)による株式会社LTTバイオファーマ(非上場)株式に対する公開買付け代理人を務めました。
- フリージア・マクロス株式会社(6343)による日邦産業株式会社(9913)株式に対する公開買付け代理人を務めました。
- 株式会社シティインデックスイレブンスによる日本アジアグループ株式会社(3751)株式に対する公開買付け代理人を務めました。
- 101投資事業有限責任組合他5名(米国スターウッドキャピタルグループ)によるインベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人(3298)投資口に対する公開買付け代理人を務めました。
- 株式会社くふうカンパニー(4399)によるハイアス・アンド・カンパニー株式会社(6192)株式に対する公開買付け代理人を務めました。
- 株式会社シティインデックスイレブンスによる日本アジアグループ株式会社(3751)株式に対する2回目の公開買付け代理人を務めました。
- Aslead Strategic Value Fund他1名による富士興産株式会社(5009)株式に対する公開買付け代理人を務めました。
- 株式会社ロコガイド(4497)の新規公開(IPO)に伴う公募の引受けを行いました。
- 株式会社アイビー化粧品(4918)の第三者割当による新株予約権の買受けを行いました。
- Greentech International Pre. Ltd.(シンガポール電気部品卸売会社)がレカム株式会社(3323)に資本業務提携した際のセルサイドアドバイザーを務めました。
- アメリカ(シリコンバレー)のベンチャー企業に投資するファンドの組成と私募の取扱いを行いました。
- イスラエルのベンチャー企業に投資するファンドの組成と私募の取扱いを行いました。
- 2つのヘッジ・ファンドの組成と私募の取扱いを行いました。
- 証券化商品(CLO)の組成と私募の取扱いを行いました。
- レジデンス型不動産特定事業(任意組合型)の組成と販売を行いました。

組織図



三田証券の特長

18期連続で黒字を継続

当社は、2021年3月期まで18期連続で黒字を継続しています。リーマンショック、欧州債務危機、東日本大震災、新型コロナウイルス(Covid-19)のパンデミックと、大きな危機が続いた18年間。証券会社として黒字を継続するには困難を伴いましたが、ウェルス・マネジメント業務、投資銀行業務、株式・債券業務、貸金業務、不動産関連業務、ディーリング業務等、幅広く業務を分散させたうえで、当社独自のユニークな商品やサービスを数多く産み出し、業績を安定化させることに成功しました。

Fiduciary Duty

当社は2003年度の年次経営計画の時からFiduciary Duty(受託者責任)という言葉掲げ、プロとしてお客様に誠実な対応をすることが証券会社の重大な責務と考えてきました。その意識はいくつもの指標に結果として表れております。証券会社や銀行の金融商品販売姿勢の問題としてしばしば批判される回転売買ですが、当社の手数料+預かり資産は0.31%/年(2020年度実績)と業界の水準を大幅に下回っています。
*手数料=受入手数料+債券トレーディング益

独自性の高い商品とサービス

当社は、独自性の高い商品やサービスの開発に強みを持ち、他社との差別化を図っております。プロダクト化された商品を証券会社側の都合で売るプッシュ型営業の時代は終わりました。我々は、投資家の方に真に求められ、支持される商品やサービスを提供することに意義を感じております。商品やサービスの開発においては、柔軟かつスピーディな対応を心がけるとともに、コンプライアンスの遵守を徹底しております。

ベンチャー スピリット

当社は、自由闊達な風土とチャレンジ精神を大切にしています。様々な分野のプロが集まり、創意工夫を活かし楽しく仕事をするのが創造的な仕事をするために必要不可欠です。1949年創業と社歴は長くなりましたが、我々はベンチャー スピリットを決して忘れません。

専門家の積極的登用

当社は、専門性の高い仕事を着実にこなせるよう、社内に数多くの専門家を雇用しております。また、外部の専門家との連携も積極的に行っております。内外の専門家のノウハウを活かすことで、お客様に差別化された最高のサービスを提供するとともに、社内のコンプライアンス体制の強化にもつなげております

2021年3月現在、グループ内に以下の専門家を擁しております。
弁護士1名、公認会計士3名、米国公認会計士1名、シンガポール公認会計士2名、税理士1名



ウェルス・マネジメント

富裕層のお客様に、多様な商品と独自のサービスで、包括的ソリューション提供します。

資産運用

伝統的投資商品からオルタナティブ商品まで多様な商品を取扱っております。

取扱い商品

上場株式等・株価指数先物オプション・米国株式・外国債券
公募投資信託・私募投資信託・不動産ファンド・独自組成ファンド
私募債・仕組債ほか

相続・事業承継対策

お客様の大切なご資産や事業を、子孫に適切に承継していくには十分な対策が必要です。当社は、相続・事業承継対策を得意とし、多くの助言実績を持っています。

不動産投資

仲介やアセット・マネジメントから海外不動産投資まで、お客様の不動産運用のお手伝いをしております。当社には、不動産業界で経験を積んだ専門家が多数在籍しています。

外国投資

米国株式・外国債券・外国籍投資信託・海外不動産等への外国投資が可能です。当社の外国為替の両替手数料は割安です。(米ドル両替の手手数料は10銭)

ファンド

世界中から魅力的なファンドを発掘し、他社にない独自性の高い商品をお客様に提供いたします。大口投資が必要なプロ向けファンドでも、個人投資家が少額の投資でもファンドにアクセスできるようにしています。

ファンド・オブ・ファンズ

世界中にあるヘッジ・ファンドから優秀な成績のヘッジ・ファンドを選別し、投資戦略・投資対象・投資地域・リスクの源泉の異なるファンドに分散投資するファンド・オブ・ファンズをシンガポール子会社が組成・運用しています。

ヘッジ・ファンド

株式市場の変動に連動せず、絶対収益を追求するヘッジファンドを多数取り扱っています。

PEファンド

アメリカ・インド・イスラエルの魅力的なベンチャー企業に投資するベンチャー・ファンドへの投資を可能にできました。

貿易ファンド

トレード・ファイナンスを行い、安定的な収益の確保を目指すファンドを取り扱っています。

海外展開・移住支援

お客様が海外に事業展開する場合や移住・留学する際、シンガポール子会社(Mita Securities Global Consulting・EJC)と協力して、円滑・最適な対応を可能にします。

非居住者口座・常任代理人業務

日本非居住者のお客様の口座開設も受け付けております。非居住者の日本株投資で必要な常任代理人を当社が務めることができます。

資金調達

上場株式・投資信託等を担保に融資を行っています。投資用不動産への融資は子会社のMita Global Financeが行っております。

保険販売

生命保険の取扱いをしております。保険販売の資格を持ったプロがお客様のご相談に応じます。また、ご加入中の保険内容の見直しなどのご相談も承ります。

不動産ファンド

純粋な不動産ファンドはもちろんのこと、相続対策の不動産ファンド、京都の町家再生ファンド、米国のデストレス不動産ファンドなど、独自性の高い不動産ファンドも多数立ち上げています。(当社は不動産特定共同事業者の許可を得ています。)

オリジナル・ファンド

お客様のためのオリジナル・ファンドの組成を行っています。オリジナル・ファンドを組成する際は複雑な法規制をクリアする必要があります。当社はオリジナル・ファンドの組成に関する多数の助言実績を持っています。

過去の実績

太陽光投資ファンド・業界再編ファンド・近代アート展示ファンド
プロレス興行ファンドほか

投資銀行

上場企業・未上場企業から病院・介護施設・薬局のお客様まで、幅広いお客様を対象に投資銀行業務を提供しております。柔軟性あるソリューションと専門的助言能力で強みを発揮します。シンガポール子会社と協力し、クロスボーダーのディールにも専門的対応を行います。

TOB代理人・FA業務

業界リーグ・テーブル6位の実績を誇っています。(2007年以降・件数ベース)
TOBの代理人業務での手続きはもちろんのこと、あらゆる局面におけるアドバイス力で定評を得ています。敵対的買収の代理人実績は日本トップ(件数ベース)で、蓄積されたノウハウをもとに、複雑な対応が必要な局面でも適切なアドバイスを提供いたします。

ファイナンス — ファクタリング

主に病院・介護施設・調剤薬局向けに診療報酬債権等のファクタリングや診療報酬等担保ローンを行い、資金調達を支援しております。2002年の業務開始以降、診療報酬債権等の買取実績を多数持っております

キャピタル・マーケット

株式・債券の専門家が、キャピタル・マーケット関連業務でお客様に多様な商品と専門的サービスを提供しています。

DMA (Direct Market Access)

プロの投資家の皆様のオンライン・トレーディングを支援します。FIX接続できる端末であれば、当社のDMAに接続可能で、ハイスピード・低コストの取引を実現します。私設取引所取引やアルゴリズム取引も活用でき、お客様の多様な投資戦略を支援します。
非居住者のお客様にも対応しています。

不動産

兼業業務として不動産関連業務を行っています。宅地建物取引業認可、不動産特定共同事業許可、二種金商業登録を行っており、幅広い不動産関連業務に対応可能です。

不動産仲介

不動産業界で長年実績を積んできた専門家が、お客様の不動産売買の仲介を行います。金融商品取引業者として、不動産信託受益権の売買も行っております。

不動産ファンド組成

当社は、不動産ファンドの組成実績を多数持ちます。現物不動産のファンドも組成できます。純投資、相続対策の商品から、デストレス不動産や古民家の再生ファンドに至るまで、多様なファンドの組成を行ってきました。当社は、ファンド組成の助言全般、投資家勧誘・ファンド管理に至るまで、多様な業務をこなします。

貸金業

当社は2002年より兼業業務として貸金業を行っています。銀行では借入が難しい案件や多額の調達が必要な案件でも、迅速・柔軟な対応を行い、お客様の調達を支援してきました。

有価証券担保ローン

上場株式、投資信託、債券等の有価証券を担保に融資を行います。迅速な審査を行い、最短2日以内の融資も可能です。株式の名義はお客様の名義のまま融資を行うため、自社株の有効活用策としてご利用頂けます。

ファイナンス — ワラント・CBの買受け

上場企業の発行するワラント・CBの買受けを行い、資金調達を支援しております。

ファイナンス — ライツ・オフアリング

ライツ・オフアリングを行う企業向けのアドバイザリー業務で多数の実績を有しております

債券業務

債券業務で長年実績を積んだ債券トレーダーが、先進国の国債・社債等を中心にトレードを行い、投資家の皆様のニーズを充たします。エマージング債券や仕組債にも対応しています。10社を超える有力な仕入れ先と全国各地の証券会社を販売先に持ち価格競争力に優れています。

海外不動産

当社は、幅広いネットワークを活かし、アメリカやアジアの不動産投資のお手伝い(ご紹介や情報提供等)を行っています。言語、法律、商習慣などの壁があり、投資家の方には不安の多い海外不動産投資ですが、当社の専門家がお客様を全面的にサポートします。

ファクタリング・医療機関向けローン

当社は、2003年以降、診療報酬・介護報酬・調剤報酬債権等のファクタリングを行っています。一部のお客様に対しては、将来債権の買取り(ローン)も行います。中小医療機関等向けファクタリング業務ではトップ・クラスの経験と実績を誇っております。

